

平成23年2月23日招集

## 茂原市議会定例会会議録（第1号）

### 議事日程（第1号）

平成23年2月23日（水）午前10時00分開会

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 報告第1号並びに議案第1号から第25  
号までの上程説明

第4 請願の上程後委員会付託

第5 休会の件

# 茂原市議会定例会会議録（第1号）

平成23年2月23日（水）午前10時00分 開会

○議長（常泉健一君） おはようございます。ただいまから平成23年茂原市議会第1回定例会を開会いたします。

現在の出席議員は23名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

午前10時00分 開議

○議長（常泉健一君） 直ちに本日の会議を開きます。

————— ☆ ————— ☆ —————

## 議会運営委員会委員長の報告

○議長（常泉健一君） 最初に、今定例会の運営につき、閉会中に議会運営委員会を2回開会し、種々協議を行いましたので、その内容について議会運営委員会委員長から報告を求めます。

議会運営委員会委員長 伊藤すすむ君。

（議会運営委員会委員長 伊藤すすむ君登壇）

○議会運営委員会委員長（伊藤すすむ君） おはようございます。議会運営委員会の報告を申し上げます。

本委員会は、去る1月21日に招集告示されました平成23年第1回定例会の運営につき、1月21日及び2月21日の両日委員会を開き、種々協議いたしましたので、その内容について報告いたします。皆様方の御協力をお願いするものでございます。

最初に、本定例会の日程について申し上げます。お手元の日程表をごらんいただきたいと存じます。

まず、会期については、市長提出の議案26件並びに一般質問通告者8人を勘案し、本日から3月16日までの22日間とすることといたします。

本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定、市長提出議案の上程説明、請願の上程後委員会付託並びに休会の件を議題といたします。

24日から3月1日までは、議案等調査のため休会、一般質問は2日に4人、3日に4人行います。

なお、一般質問者の順位は、くじにより配付資料のとおり決定しましたので、御了承願いたいと存じます。

4日は、議案質疑後委員会付託を行い、本会議終了後、各常任委員会の審査をお願いしたいと思えます。

5日から7日までは、休日等のため休会といたします。

また、議案第5号「平成23年度茂原市一般会計予算」につきましては、議会の議決により8人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、後日審査することとし、委員の選任につきましては議長に一任するということといたしました。

8日、9日は、ただいま申し上げました予算審査特別委員会の審査日として、それぞれ午前10時から委員会を開き、審査をお願いしたいと思えます。

10日から15日までは、報告書作成のため休会とし、最終日16日は、本会議に先立ちまして、午前10時から予算審査特別委員会、各常任委員会の委員長報告の調整を行っていただき、午後1時から本会議を開き、議案等に対する総括審議を行うことといたします。

以上が、今定例会の運営に関する協議決定事項であります。運営上新たな問題が生じた際は、議会運営委員会において協議の上、処理していくことといたしました。

議員皆様方の御理解、御協力を重ねてお願い申し上げまして、報告を終わります。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 以上で議会運営委員会委員長の報告を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

### 諸 般 の 報 告

○議長（常泉健一君） 次に、諸般の報告をします。

報告の内容は、閉会中における議長の諸報告、公務報告及び平成22年第4回定例会の会議録についてであります。いずれもお手元に配付してあるとおりであります。

次に、本日招集された3月定例会の議案等説明のため、市長並びに関係行政機関に出席を求めたところ、お手元に配付してあるとおりであります。

————— ☆ ————— ☆ —————

### 議 事 日 程

○議長（常泉健一君） 本日の議事日程は、既にお手元に配付してありますので、それにより御了承願います。

————— ☆ ————— ☆ —————

### 会議録署名議員の指名

○議長（常泉健一君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。

議事日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本件については、会議規則第81条の規定により、議長から指名します。

会議録署名議員に

2番 前田正志君

3番 矢部義明君

の2名を指名します。

————— ☆ ————— ☆ —————

### 会 期 の 決 定

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第2「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。今定例会の会期は、議会運営委員会の協議に基づき、本日から3月16日までの22日間としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（常泉健一君） 御異議ないものと認めます。したがって、会期は本日から3月16日までの22日間とすることと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

### 議 長 の 報 告

○議長（常泉健一君） ここで報告します。本日、市長から今定例会に提出するための議案の送付があり、これを受取りお手元に配付しました。

また、教育委員会から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定により、「教育委員会の点検・評価報告」についての報告があり、同じくお手元に配付しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

### 報告第1号並びに議案第1号から第25号までの上程説明

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第3「報告第1号並びに議案第1号から第25号までの上程説明」を議題とします。

議案の上程については、報告1件、議案25件を一括上程いたします。

市長から提案理由の説明を求めます。市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） 本日から、平成23年茂原市議会第1回定例会を開催することとなりました。議員各位におかれましては、大変御多忙のところまことに御苦労さまでございます。

今定例会におきましては、平成23年度の予算案並びに諸議案の御審議をお願い申し上げるこ

とになりますが、まず私から市政運営の方針と施策の概要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様方の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

私が市長に就任いたしましたしてから早3年が経過しようとしております。この間、「市民の声を政策に、市民の目線で実践」をモットーにさまざまな行財政改革を「大胆に着実に」進めてまいりました。限りある予算の中ではございましたが、児童生徒の生命を守る学校施設の耐震化や夜間救急の二次待機空白問題の解消、給食公社、ひめはるの里の改革など、一定の成果を上げることができました。これもひとえに議員各位並びに市民の皆様方の御支援、御協力の賜物であり、心から感謝を申し上げる次第でございます。

さて、昨今の地方自治体を取り巻く社会経済環境は大きく変動しており、高度情報化・少子高齢化・国際化など、さまざまな場面において激動とも言える変化が生じております。

このような中、本市では基本構想において「ゆたかなくらしをはぐくむ自立拠点都市もばら」を将来都市像に掲げ、諸施策を積極的に展開してまいりました。

平成13年度から32年度までの20年間を計画期間とする「茂原市総合計画」の前半10年が終了し、本年4月からは後半10年を計画期間とする新たな「茂原市総合計画後期基本計画」及び基本計画をより具体的実施していくための「第4次3か年実施計画」がスタートいたします。

基本構想で掲げました基本理念「まもり・そだて・つたえよう 人・自然・文化のかかがやき」に基づき、教育文化・健康福祉・生活環境・都市基盤・産業振興・市民自治の6本の柱に沿って諸施策を積極的に展開してまいります。

さて、我が国の社会経済情勢は、内閣府の月例経済報告によりますと、景気は足踏み状態にあるものの、一部に持ち直しに向けた動きが見られます。しかしながら、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあります。

政府はデフレからの脱却を緊急の課題と位置づけ、「新成長戦略」に基づいて日本経済を着実な回復軌道に乗せるとともに、デフレを終結させるよう政策運営を行うとしております。

このような中、国の平成23年度の一般会計は過去最大の92兆4116億円となっております。政権交代後、民主党政権がゼロから取り組んだ最初の本予算であり、経済成長・財政健全化・社会保障改革を一体的に実現して「元気な日本を復活させるための礎を築く」とされていますが、国債発行額が税収を上回るなど、財政は極めて厳しい状況にあります。

私といたしましては、国の新年度予算において地域の自由裁量を拡大するため「地位の自主性を確立するための戦略的交付金」制度が創設される見込みであるなど、「地域主権」の確立に向けた取り組みが具体化することから、県及び関係団体等と連携を深め、その動向を注意深

く見守ってまいりたいと考えております。

一方、本市の財政状況につきましては、長引く景気低迷に伴う市税収入の減少、制度改正等に伴う扶助費の増加などにより、5年間で約158億円の収支不足が見込まれるという財政危機を回避するため、平成18年度から5年間の「財政健全化計画」を策定し、財政収支の均衡と本市の最重点課題である債務負担行為残高の縮減に努めてまいりました。

財政健全化計画期間中の5年間は、市民の皆様はもとより、議員各位にも大変な御苦勞をおかけしてまいりましたが、皆様の御協力によりまして赤字転落の危機を乗り越え、債務についてもほぼ計画どおり返済することができました。改めて御礼を申し上げる次第であります。

しかしながら、本市の財政状況はいまだに多額の債務を抱えており、少子高齢化や景気の低迷による地域経済の停滞など、今後も厳しい状況が続くものと見込まれる中で、さまざまな行政課題に対応するため、新たに平成23年度から25年度までの3年間の計画期間とする行政改革計画と財政健全化計画からなる「行財政改革大綱第5次実施計画」を策定いたしました。

策定にあたりましては、行財政改革協議会をはじめとする議会の皆様の御協力を賜り、また、パブリックコメント手続の実施により5名の市民の皆様から20件の貴重な御意見をいただきました。引き続きさらなる行財政改革に不断に取り組み、将来に向けて安定した行財政基盤の確立に努めてまいります。

このような状況のもと、平成23年度の予算編成にあたりましては、歳入について市税収入及び税外収入の可能な限りの確保に努めるとともに、歳出については最少の経費で最大限の効果を上げられるよう、事業の根本的な見直しや経費の徹底的な節減に努めるところでございます。

今後とも聖域なき経費削減と事業の「選択と集中」を断行し、本市の将来のために、新たな10年への第一歩を力強く着実に踏み出してまいりたいと考えております。

次に、本市の主要施策について御説明申し上げます。

初めに、教育文化について申し上げます。

学校施設の耐震化につきましては、耐震診断未実施の建物について早期に診断し、その結果に基づく耐震化工事を進めてまいります。

現在は、昨年実施した耐震診断でI s値が0.3未満であることが判明した小学校4校（東郷小、東部小、豊田小、豊岡小）の屋内運動場と富士見中学校の校舎1棟の耐震補強設計を行っております。

また、小学校で平成23年度から、中学校で平成24年度から完全実施となる「新学習指導要領」の趣旨に沿って、基礎的・基本的な知識技能を習得させるとともに、それらを活用し課題

の解決に必要な思考力・判断力・表現力を育む教育を実現するために具体的な処置を講じてまいります。

まず、国際化に対応した教育につきましては、小学校5、6年生の「外国語活動の時間」が平成23年度から必修化されるため、引き続き3名のE L Tを派遣するとともに、中学校にも引き続き4人のE L Tを派遣して、国際理解教育の充実を図ってまいります。

また、特別支援教育につきましては、緊急雇用創出事業を活用した特別支援教育支援員を小学校7校、中学校3校及び幼稚園1園に配置し、障害を持った児童生徒等の支援に努めてまいります。

図書館につきましては、市民サービスの向上を図るため、貸し出しを市内在住・在勤者に限るとともに、新たに月曜日を開館してまいります。

国際化の推進につきましては、姉妹都市オーストラリアのソルズベリー市と活発な交流を行っており、昨年は就任後初の訪問となるオールドリッジ市長をはじめとする訪問団をお迎えし、「茂原七夕まつり」を盛り上げていただきました。今後もさまざまな分野において交流を図り、一層の友好関係を築いてまいりたいと考えております。

また、在住外国人の増加や多国籍化に伴い、国際社会に対応する人材の育成や在住外国人の自立支援、地域住民との交流の場が必要となりますので、市民と協働して「国際交流協会」の設立を検討し、国際交流の盛んなまちを目指してまいります。

次に、健康福祉について申し上げます。

地域福祉につきましては、昨年12月1日に3年に一度の民生委員、児童委員の全国一斉改選が行われました。本市では定数142名に対して134名が委嘱され、現状では8名が欠員となっておりますが、そのうち7名が既に内定しておりますので、4月1日には委嘱ができる予定となっております。したがって、本市におきましては、報道にあるような「大勢の欠員が生じている」といったことはございません。

また、平成22年4月に策定した「茂原市災害時要援護者避難支援プラン全体計画」に基づき、個別計画の早期策定を図るとともに、災害弱者の支援体制づくりに努めてまいります。

高齢者福祉につきましては、平成19年の消防法施行令改正に伴う認知症高齢者グループホームにおけるスプリンクラーの整備を推進しており、平成22年度までに3カ所の工事が完了しておりますが、275平方メートル以上の3施設につきましては、平成23年度中の設置が義務づけられております。今後は、市内すべてのグループホームにおいて補助制度を活用した整備が行われるよう促進に努めてまいります。

また、介護、福祉、健康、医療などのさまざまな面から支えることにより、高齢者の方々が住みなれた地域でいつまでも元気で暮らすことのできるよう、平成24年度から始まる新たなる「高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画」の策定に取り組んでまいります。

国の施策である「住宅手当緊急特別措置事業」につきましては、厳しさが続く雇用失業情勢に対応するため、引き続き平成23年度も実施されることとなりました。今後も、低所得者支援とあわせて住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行ってまいります。

保健医療につきましては、子宮がん及び乳がん検診について、一定年齢の方の検診無料化を継続してさらなる検診率の向上に努めるとともに、本年2月1日から開始した「子宮頸がん予防ワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」の接種事業を引き続き実施してまいります。

また、妊婦健康診査項目に「ヒトT細胞白血病ウイルス-1型」と「クラミジア」を加え、その一部を公費で賄ってまいります。

新たな事業といたしましては、働く世代への大腸がん検診推進事業として、一定年齢の方に大腸がん検査キットを直接送付し、がん検診の重要性を理解していただくとともに、在宅でがん検診が受け取られる体制を構築してまいります。

次に、生活環境について申し上げます。

生活関連道路の整備につきましては、緊急性及び投資効果等を勘案しながら、市道2級27号線（大沢地先）をはじめ3路線の道路改良工事を引き続き実施してまいります。

河川整備につきましては、県事業の二級河川赤目川改修事業として実施中の越場橋の迂回路を完成させた後に新橋の下部工を、上流部の調節池で外周部の遮水壁を、法目地区では用地買収に着手する予定となっております。

公園整備につきましては、県の緊急雇用創出事業補助金を財源として、公園の日常点検・除草清掃・公園台帳の電子化を実施し、利用者が安心して使用できるよう施設管理に努めてまいります。

県立長生の森公園整備事業につきましては、市道3級4010号線沿いの第1工区について、平成25年度の整備完了を目指して雨水調整池工事を行うとともに、希少動物追跡確認のための自然環境調査を引き続き実施する予定となっております。

平成23年度以降は県事業負担金が廃止となりますが、今後とも県と連携し、事業の促進を図ってまいります。

住宅環境の整備につきましては、市営住宅の集約化を図るため、西野住宅の用途廃止を実施

するとともに、「茂原市耐震改修促進計画」に基づき、一般住宅の耐震化に向けた市民の意識啓発に努めてまいります。

交通安全施設の整備につきましては、東郷小学校の通学路である市道1級28号線が完了したことから、平成23年度は本納小学校、本納中学校の通学路である市道1級17号線の歩道整備に着手します。

防災対策につきましては、災害時の情報伝達手段である防災行政無線の適切な管理、防災備蓄品の更新などに努めるとともに、地域防災訓練を実施して市民の防災意識の高揚、自主防災組織の設立促進を図り、市民と行政が一体となった「災害に強いまちづくり」に努めてまいります。

消費生活につきましては、消費者行政を統一的、一元的に推進するため、国において消費庁が設置され、また、消費者行政に関連する法律の整備がなされました。

本市におきましても、消費生活における相談窓口のさらなる充実と消費者行政の推進体制の整備を図るため、本年4月から消費生活相談窓口を「消費生活センター」に改め、市民が安心して豊かな消費生活を営めるよう取り組んでまいります。

次に、都市基盤について申し上げます。

適正な土地利用につきましては、都市計画マスタープランの推進に向け、市民会議において「景観行政」を主なテーマとした景観計画の策定や景観条例の制定について検討を行い、市民との協働による景観を重視した魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

また、総合計画後期基本計画と整合を図るため、都市計画マスタープランの見直しを行ってまいります。

茂原駅前通り地区土地区画整理事業につきましては、引き続き建物移転及び街区整備等を計画的に実施し、本市の中心商業軸にふさわしい街並みの形成と市街地の活性化のため、地区権利者と構成する「まちづくり推進協議会」と連携して事業の推進に努めてまいります。

大芝・ゆたかの組合施行による土地区画整理事業につきましては、近年の住宅需要の低迷や長引く地価の下落等により、当初見込んでいた保留地処分金が確保できず大変厳しい状況にあることから、今後も引き続き県と連携を図り、組合の早期経営改善と円滑な運営が行われるよう適切な助言、指導を行ってまいります。

本納駅東地区土地区画整理事業につきましては、厳しい財政状況の中で事業化の見通しが示せないため、将来のまちの骨格となる主な道路・河川・公園の大まかな配置、土地利用のおおよそのゾーニング、整備を進める上での住民・行政の役割分担について、まちづくり研究会と

協議検討を行っております。

今後は「新しいまちづくり方針についての研究会（案）」を踏まえ、道路・河川・公園等の「地区施設」や「建築物等に関するルール」などの具体的なまちづくりの内容である「地区整備計画の地元案」の作成に努めてまいります。

広域幹線道路につきましては、平成24年度の供用開始に向けた圏央道の東金・茂原・木更津間の整備が進められております。

主要地方道千葉茂原線への圏央道スマートインターチェンジの設置につきましては、市街地からのアクセス性の向上や観光の振興、企業立地の促進など、地域の活性化に資するものであることから、実現に向けて進めてまいります。

茂原・木更津東インターチェンジ間21.3キロにつきましては、昨年10月に笠森トンネルで、さらに12月に山口トンネルでそれぞれ陥没事故が発生いたしましたが、国からは平成24年度の供用開始には影響しないとの説明がありました。

次に、地域高規格道路である長生グリーンラインにつきましては、将来交通量推計の見直しにより採算性が見込めないとの結論に達し、有料道路から一般道へ、道路規格を4車線から2車線へ変更したため、昨年12月に住民説明会が行われました。今後は、効果的な事業推進を図るため、長南地区がある程度進んだ段階で茂原地区の整備に着手することとさせていただきます。

私といたしましても、圏央道とそのアクセス道路としての長生グリーンラインが持つ本市の将来の発展にとっての重要性にかんがみ、事業促進に向けて関係機関へ働きかけてまいります。

次に、県道茂原環状線につきましては、小林工区において国道128号腰当交差点及び主要地方道千葉茂原線との変則交差点が解消され、平成23年度は市道1級14号線との交差点（セブンイレブン長尾店前）の暫定改良などが予定されております。

都市計画街路事業につきましては、厳しい財政状況を考慮し、限られた財源を効果的に執行するよう努めている中で、小林浜町線について、市街地の渋滞緩和、変則交差点の解消や歩行者の安全確保のため、本年7月の完成に向けて改良工事を実施しております。

また、桑原梅田線につきましては、茂原駅周辺の道路交通網を整備する上で重要な路線であることから、用地確保に努めてまいります。

次に、産業振興について申し上げます。

農政につきましては、農産物価格の低迷、農業従事者の高齢化及び担い手不足など、農業を取り巻く環境は非常に厳しく、農地の遊休化も進んでおりますので、認定農業者制度を活用して人材の確保を図り、活力ある担い手や地域のリーダー育成に努めるとともに、遊休農地につ

いて「耕作放棄地再生利用対策事業」を活用し、営農再開に向けた草刈り、整地等を行い、認定農業者等へ農地の利用集積を図ってまいります。

また、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、主食用米から飼料用米への作付転換を推進するなど食料自給率の向上と農業の多面的機能の維持を目指す「農業者戸別所得補償制度」が平成23年度から本格実施されますので、より多くの農業者が本制度に加入するよう促進してまいります。

農業の活性化策と地産地消の拠点である「旬の里 ねぎぼうず」による農産物直売所事業につきましては、平成22年の年間売り上げが2億500万円余となりました。今後も、新鮮で安全で安心な農産物を地元消費者へ供給する拠点として支援してまいります。

ひめはるの里につきましては、借受者である株式会社ニチイグリーンファームにより昨年7月末からプレオープン期間として運営されておりましたが、このたび準備期間を終え、「レイクウッズガーデン ひめはるの里」として、4月6日にグランドオープンいたします。前日の4月5日にはオープンセレモニーを開催する予定となっております。

次に、企業誘致につきましては、本市の重要施策であり、私もトップセールスマンとして企業を訪問するなど、企業ニーズや経営状況の把握に努めているところであります。

圏央道の供用開始が平成24年度に見込まれており、交通アクセス等の利便性が増すことから、「茂原にはる工業団地」の早期造成の実現に向けて、県及び県土地開発公社に積極的に働きかけてまいります。

商業振興につきましては、学識経験者や商店街振興組合・商工会議所関係者からなる「商店街活性化推進委員会」とともに、商店街の活性化についての調査・研究に努めてまいります。

観光につきましては、本市の夏の最大イベントである「茂原七夕まつり」がことしで57回目を迎え、市民から愛されるだけでなく、県内外から毎年多くの人出でにぎわう関東屈指のお祭りとして定着しております。ことしも見て楽しく、訪れた皆様の思い出に残る魅力ある七夕祭りが開催できるよう努めてまいります。

また、茂原市観光協会及び長生地域観光連盟と連携し、それぞれの観光資源を活用して広域的な観光振興を推進してまいります。

次に、市民自治について申し上げます。

市民自治の一層の推進を図り、「すべての市民が住んで良かったと思えるまち茂原」を実現するため、まちづくりに基本原則を定めた「茂原市自治基本条例」の検討を進めてまいります。検討にあたりましては、「茂原市自治基本条例検討委員会」を設置し、広く市民の意見を反映

させるため、委員の公募を実施いたしたいと考えております。

情報化の推進につきましては、昨年、庁内に1人1台のパソコン整備が完了しました。今後はセキュリティ対策を含め、適切な使用管理に努めてまいります。

また、総合行政ネットワーク（LGWAN）を活用して、国及び各地方自治体と情報の共有・交換を行い、行政事務の効率化及び迅速化に努めてまいります。

本年7月の地上デジタルテレビ放送への完全移行につきましては、国の意向に基づき広報やホームページによる周知を行うとともに、新たな難視地域について、市民の国との調整役として鋭意努力してまいります。

次に、入札制度の改善につきましては、事務の効率化や入札の透明性・競争性の向上を図るため、千葉県及び県内42市町が共同利用する「ちば電子調達システム」を導入いたします。

今後は平成23年度以降の入札参加資格審査申請、平成24年度以降の入札・情報公開など、一連の事務をインターネットで行えるよう順次進めてまいります。

次に、男女共同参画につきましては、平成23年度から「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第2次）～」がスタートいたします。

第2次計画は目標年次を平成27年度とし、第1次計画の成果を踏まえながら「女性と男性が、互いを理解し、協力し合うこと」を基本理念に掲げ、諸施策を積極的に展開してまいります。

次に、市税の徴収率向上の取り組みにつきましては、納税者の利便性向上を図るため、従来の金融機関での納付に加えて、コンビニエンスストアにおける納付を開始いたします。

平成23年度はシステム改修、試行、収納代行業者の選定などの準備を行い、平成24年度より全税目（市県民税、軽自動車税、固定資産税、国民健康保険税）のコンビニ収納を開始いたします。

以上、市政運営にあたっての所信の一端と主要施策について申し上げます。その結果、平成23年度一般会計予算の総額は269億5800万円となり、前年度比予算に比べ8.8%の増となりました。また、特別会計8会計の予算総額は180億3712万円となり、前年度比3.1%増となったところでございます。

さて、本定例会に提案申し上げます案件は、報告1件、予算議案12件、条例議案7件、その他の議案6件の合計26件でございます。

初めに、報告第1号「専決処分承認を求めることについて」申し上げます。

本報告は、国において「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」制度が創設され、本市でもこの制度を活用した接種事業を平成23年2月1日から実施することとなり、急施

を要するため平成23年1月26日に専決処分を行ったものでございます。

次に、議案第1号から議案第4号までは、平成22年度の各会計に係る補正予算に関するものでございます。

議案第1号の一般会計補正予算につきましては、歳入歳出それぞれ12億5402万4000円を追加し、予算の総額を271億685万7000円にしようとするものでございます。

主な内容として、財政調整基金の積立、土地開発公社の債務償還、安全・安心な学校づくり交付金を活用した小学校・中学校・幼稚園の屋内運動場及び管理教室棟の耐震補強工事などを追加するものでございます。

次に、議案第2号から議案第4号までは、特別会計に関するものでございます。議案第2号の国民健康保険事業費補正予算につきましては、歳入歳出それぞれ1890万4000円を追加して予算の総額を98億3792万4000円に、議案第3号の老人保健費補正予算につきましては、歳入歳出それぞれ3152万8000円を追加して予算の総額を3273万8000円に、議案第4号の駐車場事業費補正予算につきましては、歳入において財源更正を行うものでございます。

次に、議案第5号から議案第12号までは、平成23年度の各会計にかかわる予算に関するものですが、概要につきましては先ほど申し上げたとおりでございます。

次に、議案第13号の「茂原市基本構想の一部変更について」申し上げます。

本案は、茂原市総合計画の基本構想における計画目標年次である平成32年の想定人口を3万5000人下方修正し、9万人にしようとするものでございます。

次に、議案第14号から第15号までは、特別職及び教育長の給料額において、財政健全化の一環として削減をすべく改正を行おうとするものでございます。

次に、議案第16号の「茂原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

本案は、同じく財政健全化の一環として、一般職の給料について改正するとともに、住居手当につきましても、千葉県職員に準じて改正しようとするものでございます。

次に、議案第17号の「茂原市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

本案は、後期高齢者医療制度が創設されたことに伴い、老人保健特別会計を廃止しようとするものでございます。

次に、議案第18号の「茂原市福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

本案は、市民サービスの向上を図ることを目的として、福祉センターの月曜日開館を実施するため、所要の改正を行うものでございます。

次に、議案第19号の「茂原市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

本案は、地元自治会より廃止要望のあった児童遊園を廃止しようとするものでございます。

次に、議案第20号「茂原市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」申し上げます。

本案は、国において出産一時金の額が42万円に恒常化する方針が固められたことに伴い、本市においても所要の改正を行おうとするものでございます。

次に、議案第21号及び第22号につきましては、山武郡大網白里町と本市の一部区域について、県営瑞穂地区土地改良事業が完成したことに伴い、行政境界の変更及び財産処分にあたり、地方自治法の規定により議会の議決を得ようとするものでございます。

次に、議案第23号「茂原市道路線の認定について」申し上げます。

本案は、宅地分譲に伴い市に帰属された道路など新たに20路線について、市民の一般通行の利便を図るため認定しようとするものでございます。

次に、議案第24号「茂原市道路線の廃止について」申し上げます。

本案は、開発行為計画等に伴い、4路線を廃止しようとするものでございます。

次に、議案第25号「千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について」申し上げます。

本案は、千葉県総合事務組合の組織団体の数が減少することにより組合同規約の一部を改正する必要があるため、関係地方公共団体と協議をしようとするものでございます。

以上が、今定例会に提案しております26案件の概要でございます。詳細につきましてはそれぞれ担当部長から説明させますので、よろしく御審議を賜り、御可決くださいますようお願い申し上げます。以上でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○議長（常泉健一君） 企画財政部長 平野貞夫君。

（企画財政部長 平野貞夫君登壇）

○企画財政部長（平野貞夫君） 企画財政部所管にかかわります報告1件、議案3件につきまして御説明申し上げます。

初めに、報告第1号「専決処分の承認を求めることについて」御説明申し上げます。

本報告は、国において、新たに「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」制度

が創設されたことに伴い、本市においても、この制度を活用した接種事業を平成23年2月1日から実施することといたしました。このため平成22年度茂原市一般会計補正予算（第4号）について、急施を要するものとして平成23年1月26日に専決処分をいたしましたので、その御承認を求めるものでございます。

補正予算の内容ですが、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6083万9000円追加し、258億5283万3000円にしたものでございます。

歳出では、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種事業費を追加し、これに対します歳入は、地方交付税と県支出金で対応いたしました。

続きまして、議案第1号「平成22年度茂原市一般会計補正予算（第5号）」につきまして御説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ12億5402万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ271億685万7000万円にしようとするものであります。

その概要を歳出から申し上げます。

2款総務費、1項総務管理費、15目財政調整基金費の積立金は、財政調整基金に2億円を積み立てするものでございます。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費の国民健康保険事業特別会計繰出金は、保険税軽減適用者の増により基盤安定繰入分として3991万7000円を追加するものでございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費の長生郡市広域市町村圏組合衛生事業負担金は、温水センター貸付準備のための機械設備改修工事等による増といたしまして765万4000円を追加するものでございます。

6款商工費、1項商工費、3目勤労福祉施設費の施設維持管理費は、きめ細かな交付金を活用し、東部台文化会館の外壁補修工事などに2960万9000円を追加するものでございます。

7款土木費、3項都市計画費、2目街路事業費は、土地開発公社の債務償還として2億円を追加するものでございます。

9款教育費、2項小学校費、3目学校建設費の小学校施設整備事業は、東郷小学校ほか3校の屋内運動場の耐震補強工事などに5億9587万5000円を追加するものでございます。

3項中学校費、3目学校建設費の中学校施設整備事業は、富士見中学校の管理教室棟耐震補強工事などに1億2663万2000円を追加するものでございます。

4項幼稚園費、2目幼稚園建設費の幼稚園施設整備事業は、五郷幼稚園の管理教室棟耐震補強工事などに2402万2000円を追加するものでございます。

5 項社会教育費、3 目図書館費は、住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、図書購入に640万円を、トイレ改修工事に230万円をそれぞれ追加するものでございます。

6 項保健体育費、2 目体育施設費は、きめ細かな交付金を活用し、市民体育館改修工事に405万8000円を追加するものでございます。

次に、歳入の主なものについて申し上げます。

14款国庫支出金は、安全・安心な学校づくり交付金、きめ細かな交付金の増などにより2億5758万2000円を追加するものでございます。

19款繰越金は、1億7149万9000円を追加するものでございます。

21款市債は、小学校等の耐震補強事業などに伴い6億2450万円を追加するものでございます。

次に、第2表繰越明許費について申し上げます。

国の補正予算を活用した小学校施設整備事業など3事業、地域活性化・光をそそぐ交付金、きめ細かな交付金による5事業については、3月補正で予算化することにより履行期限の確保が困難であるため、翌年度へ繰り越すものでございます。また、道路改良事業など8事業についても、履行期限の確保が困難であるため繰り越すものでございます。

次に、第3表債務負担行為補正について申し上げます。

道路改良用地取得事業を、平成23年度から平成38年度までの期間、1億777万5000円及びこれに係る利子を加算した額を限度額として追加するものでございます。

次に、第4表地方債補正について申し上げます。

小学校等の施設整備事業及び臨時財政対策債の限度額を追加及び変更するものでございます。続きまして、議案第5号「平成23年度茂原市一般会計予算」につきまして御説明申し上げます。

平成23年度の茂原市一般会計予算の総額は歳入歳出それぞれ269億5800万円となり、前年度に比べ21億8500万円、8.8%の増となりました。

その概要を歳出より申し上げます。

1 款議会費は、3億3290万3000円を計上いたしました。地方議会議員年金制度廃止に伴う負担金の増などにより、前年度に比べ8793万6000円、35.9%の増となりました。

2 款総務費は、24億4221万5000円を計上いたしました。緊急雇用創出事業による固定資産家屋照合調査事業の増などがあるものの、選挙関係経費や固定資産税等賦課事務費の減などにより、前年度に比べ1239万8000円、0.5%の減となりました。

3 款民生費は、88億7849万6000円を計上いたしました。介護給付事業、子ども手当支給事業、

介護保険事業特別会計繰出金の増などにより、前年度に比べて7億2533万6000円、8.9%の増となりました。

4款衛生費は、34億9607万1000円を計上いたしました。長生郡市広域市町村圏組合水道事業負担金・清掃事業負担金や九十九里地域水道企業団出資金・負担金の減などがあるものの、小学校3年生までの対象拡大に伴う子ども医療費助成事業や子宮頸がん等ワクチン接種事業の増などにより、前年度に比べ3874万円、1.1%の増となりました。

5款農林水産業費は、4億1402万円を計上いたしました。県事業費の増に伴う渋谷地区の湛水防除事業負担金の増などにより、前年度に比べ2012万9000円、5.1%の増となりました。

6款商工費は、10億6416万1000円を計上しました。企業立地促進奨励金の増などにより、前年度に比べ3737万円、3.6%の増となりました。

7款土木費は、33億2878万4000円を計上いたしました。河川改修事業の減などがあるものの、土地開発公社に係る債務負担行為償還や緊急雇用創出事業による都市計画資料電子化事業、道路改良事業、街路事業、茂原駅前通り地区土地区画整理事業の増などにより、前年度に比べ14億7279万円、79.4%の増となりました。

9款教育費は、25億3229万8000円を計上いたしました。校舎9棟、屋内運動場9棟、渡り廊下1棟の耐震診断業務委託料の増があるものの、萩原小学校改築工事や本納中学校耐震補強工事、ゆめ半島千葉国体推進事業の減などにより、前年度に比べ1億1969万円、4.5%の減となりました。

11款公債費は、前年度に比べ8112万2000円、2.5%減の31億6475万6000円を計上いたしました。

13款予備費は、前年度に比べ1000万円、25.0%減の3000万円を計上いたしました。

次に、主な事業について申し上げます。

2款総務費ですが、2項徴税費、2目賦課徴収費の徴収事務運営費は、コンビニ収納事業の導入準備により、7276万2000円を計上いたしました。

次に、3款民生費ですが、2項児童福祉費、2目児童措置費の子ども手当支給事業は、3歳未満の子どもの支給額が月1万3000円から2万円に増額すること等により、18億1211万4000円を計上いたしました。

3項生活保護費、2目扶助費の生活保護扶助費は、生活扶助費、医療扶助費等により、11億8214万円を計上いたしました。

次に、4款衛生費ですが、1項保健衛生費、2目予防費の子宮頸がん等ワクチン接種事業は、

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種委託料等に、1億6194万6000円を計上いたしました。

3目健康管理費の健康診査事業は、働く世代の大腸がん検診推進事業等により、8730万7000円を計上いたしました。

次に、5款農林水産業費ですが、1項農業費、5目土地改良事業費の湛水防除事業は、渋谷地区の県営事業の負担金等により、2266万6000円を計上いたしました。

次に、6款商工費ですが、1項商工費、2目商工振興費の企業立地促進事業は、企業立地促進奨励金等により、3億5万2000円を計上いたしました。

次に、7款土木費ですが、1項道路橋梁費、2目道路維持費の道路橋梁維持補修費は、道路補修工事等により、4888万5000円を計上いたしました。

3項都市計画費、2目街路事業費の街路事業費は、桑原梅田線及び小林浜町線の街路事業費並びに土地開発公社に係る債務負担行為償還により、5億5666万5000円を計上いたしました。

4目区画整理費の茂原駅前通り地区土地区画整理事業は、建物等移転補償費及び土地開発公社に係る債務負担行為償還等により、10億8241万2000円を計上いたしました。

次に、9款教育費ですが、2項小学校費、1目学校管理費の施設設備維持管理費は、小学校の校舎8棟、屋内運動場8棟、渡り廊下1棟の耐震診断業務委託料等により、1億3219万3000円を計上いたしました。

3項中学校費、1目学校管理費の施設設備維持管理費は、中学校の校舎1棟、屋内運動1棟の耐震診断業務委託料等により、6683万7000円を計上いたしました。

次に、歳入について主なものを申し上げます。

1款市税は、129億9700万円を計上いたしました。景気の先行きが不透明な中、市民税の個人所得割、固定資産税の償却資産の落ち込みなどにより、前年度に比べ1億3647万3000円、1.0%の減となりました。

6款地方消費税交付金は、消費の減少を見込み、前年度に比べ6600万円、7.1%減の8億6400万円を計上いたしました。

10款地方交付税は、29億5147万3000円を計上いたしました。地方議員年金制度の廃止や子宮頸がん等ワクチン接種に係る需要額の増や、臨時財政対策債への振替額の縮小等による普通交付税の増などにより、前年度に比べ13億6237万3000円、85.7%の増となりました。

14款国庫支出金は、32億184万8000万円を計上いたしました。3歳未満の支給額の増額による子ども手当負担金の増や障害者自立支援給付費等負担金、生活保護費負担金の増などにより、

前年度に比べ3億3079万8000円、11.5%の増となりました。

15款県支出金は、16億7026万円を計上いたしました。子ども手当負担金や子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業補助金、千葉県緊急雇用創出事業補助金の増などにより、前年度に比べ3億1409万9000円、23.2%の増となりました。

16款財産収入は、東郷字富士見等の土地売払収入の増などにより、前年度に比べ4350万2000円、126.7%増の7782万8000円を計上いたしました。

20款諸収入は、土地開発公社貸付金元金収入の増などにより、前年度に比べ4億6798万9000円、40.4%増の16億2602万5000円を計上いたしました。

21款市債は、臨時財政対策債の減などにより、前年度に比べ1億5790万円、7.8%減の18億5490万円を計上いたしました。

次に、第2表地方債について申し上げます。

農業生産基盤整備事業ほか5件の事業につきまして、借り入れの限度額、起債の方法、利率及び償還の方法を設定するものでございます。

続きまして、議案第13号「茂原市基本構想の一部変更について」御説明申し上げます。

本案は、茂原市基本構想における平成32年の想定人口を修正するとともに、施策の大綱の一部を修正しようとするものでございます。

平成13年に策定いたしました茂原市基本構想では、目標年次である平成32年の人口を12万5000人と想定しておりました。しかしながら、近年においては以前のような人口増加は見られず、また、全国的に人口が減少に向かう中、本市においても平成14年をピークに減少に転じております。そのような中で、後期基本計画の策定にあたり、改めて人口推計を行ったところ、平成32年における人口は9万人となりました。そこで、基本構想第5章第2節の想定人口を12万5000人から9万人に下方修正するものでございます。

また、これを受けまして、第6節施策の大綱の文言の一部についても修正するものでございます。

以上、企画財政部所管にかかわります報告1件、議案3件につきまして御説明させていただきました。よろしく御審議の上、御承認並びに御可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 市民部長 中山 茂君。

（市民部長 中山 茂君登壇）

○市民部長（中山 茂君） 市民部所管にかかわります議案第2号、議案第3号、議案第6号、議案第12号、議案第17号及び議案第20号について御説明申し上げます。

初めに、議案第2号「平成22年度茂原市特別会計国民健康保険事業費補正予算（第1号）」について御説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1890万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ98億3792万4000円にしようとするものでございます。

その主な内容を歳出より申し上げます。

1款総務費につきましては、職員給与費等に関し人事院勧告に準じた取り扱いとするため、196万2000円を減額するものでございます。

3款後期高齢者支援金等につきましては、後期高齢者医療制度を支える現役世代の拠出金で被保険者数に応じて拠出するもので、215万8000円を追加するものでございます。

8款保健事業費、2項保健事業費、1目保健衛生普及費でございますが、人間ドック助成事業の利用者の増加により、180万4000円を追加するものでございます。

11款諸支出金、1項償還金及び還付加算金につきましては、平成21年度の国庫支出金、県支出金の精算に伴う返還金として、1590万4000円を追加するものでございます。同じく11款の3項繰出金、1目診療施設繰出金につきましては、公立長生病院への診療施設繰出金として100万円を追加するものでございます。

次に、歳入の主な内容を申し上げます。

公立長生病院への繰出金は6款の県支出金100万円にて、そのほかにつきましては、繰越金1986万6000円にて対応しようとするものでございます。

なお、1款国民健康保険税と9款繰入金につきましては、平成22年度の国民健康保険税の課税により、所得の低い方に配慮した軽減制度の拡充を実施したところでございますが、保険税軽減適用者が多かったため、国民健康保険税は減額し、一般会計からの国保制度安定化のための国・千葉県などからの基盤安定分繰入金を増額し、計上しております。

続きまして、議案第3号「平成22年度茂原市特別会計老人保健費補正予算（第1号）」につきまして御説明申し上げます。

老人保健制度は、平成18年法律第83号の「健康保険法等の一部を改正する法律」の施行により、平成20年度から後期高齢者医療制度として改編されたわけですが、この改正法にあった従前の老人保健特別会計の設置義務が平成23年3月31日でなくなることから、一般会計へその残余を引き継ごうとするものでございます。

歳入でございますが、1款の繰越金で平成21年度以前の繰越金3074万8000円及びその他国・県の支出金を計上し、歳入総額を3273万8000円にするものでございます。

歳出でございますが、歳入総額の3273万8000円を一般会計に繰り出すものでございます。

続きまして、議案第6号「平成23年度茂原市特別会計国民健康保険事業費予算」について御説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ101億3983万3000円とするものでございます。前年度に比べまして3億2081万3000円、3.2%の増でございます。

その主な内容を歳出から申し上げます。

1 款総務費につきましては、人件費、事務費及び運営協議会費等の国民健康保険事務に要する経費といたしまして、1 項総務管理費、2 項徴税费、3 項運営協議会費、合わせて1 億6151 万1000円を計上いたしました。

2 款保険給付費につきましては、今年度の医療費の推移等を勘案し、2 款保険給付費全体で68億8848万円を計上いたしました。前年度に比べ2 億3027万円の増でございます。

1 項療養諸費につきましては、一般被保険者及び退職被保険者の療養給付費及び療養費に要する費用といたしまして、61億1717万9000円を計上いたしました。

2 項高額療養費につきましては、一般被保険者及び退職被保険者の高額療養費及び高額介護合算療養費に要する費用といたしまして、6 億9390万6000円を計上いたしました。

3 款後期高齢者支援金等につきましては、75歳以上の後期高齢者医療制度を支える支援金といたしまして、12億7810万4000円を計上いたしました。

4 款前期高齢者納付金等につきましては、65歳から74歳までの医療費を負担する前期高齢者医療制度の負担金といたしまして、371万円を計上いたしました。

5 款老人保健拠出金につきましては、平成21年度請求分に対応するため、81万4000円を計上いたしました。

6 款介護納付金につきましては、40歳から64歳までの第2号被保険者の負担分といたしまして、5 億7025万7000円を計上いたしました。

7 款共同事業拠出金につきましては、高額医療費共同事業及び保険財政共同安定化事業等に要する拠出金といたしまして、10億8637万5000円を計上いたしました。

8 款保健事業費につきましては、特定健康診査・特定保健指導の事業費、短期人間ドック助成事業等の保健衛生普及費といたしまして、1 億1402万8000円を計上いたしました。

11 款諸支出金につきましては、保険税に係る過誤納付に伴う還付金等といたしまして、655 万2000円を計上いたしました。

12 款予備費につきましては、3000万円を計上いたしました。

続きまして、歳入の主なものにつきまして申し上げます。

1 款国民健康保険税につきましては、28億3190万1000円を計上いたしました。前年度に比べ1億2721万9000円の減でございます。平成22年度から会社都合により離職して国民健康保険に加入した場合の特例制度と、所得の低い方の軽減制度が拡充された影響によるものでございます。

3 款国庫支出金につきましては、療養給付費、後期高齢者支援金や特定健康診査等に対する国庫負担金及び保険財政安定のための国庫補助金でございまして、合わせて22億9882万8000円を計上いたしました。前年度に比べ3433万1000円の減でございます。

4 款療養給付費等交付金につきましては、退職被保険者の療養給付費などの交付金でございますが、4億9646万5000円を計上いたしました。退職被保険者の増加に伴い、前年度に比べ1億9441万8000円の増でございます。

5 款前期高齢者交付金につきましては、65歳から74歳までの前期高齢者の医療費に係る交付金といたしまして23億7021万6000円を計上いたしました。前年度に比べ3億1253万1000円の増でございます。

6 款県支出金につきましては、4億507万9000円を計上いたしました。これは国保財政の安定化を図るための県の負担金及び補助金でございますが、前年度に比べ360万8000円の増でございます。

7 款共同事業交付金につきましては、9億7763万8000円を計上いたしました。前年度に比べ2656万8000円の減でございます。

9 款繰入金につきましては、5億107万6000円を計上いたしました。人件費、事務費等に対する一般会計繰入金及び保険税の軽減措置に対する保険基盤安定繰入金でございます。

10 款繰越金でございますが、その他繰越金として2億1000万円の繰越金を歳入に充てようとするものでございます。

続きまして、議案第12号「平成23年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費予算」につきまして御説明申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億8914万7000円とするものでございます。これは後期高齢者医療制度に要する本市における事務事業費及び被保険者から徴収する保険料額を計上したものでございます。

その主な内容を歳出から申し上げます。

1 款総務費、1 項総務管理費として4053万4000円、2 項徴収費として209万8000円を、2 款

後期高齢者医療広域連合納付金、1項後期高齢者医療広域連合納付金として7億4351万4000円をそれぞれ計上し、4款予備費として100万円を計上いたしました。

次に、歳入の主なものを申し上げます。

1款後期高齢者医療保険料につきましては、年金からの天引き分として、1目特別徴収保険料4億587万9000円を、被保険者からの直接徴収分として、2目普通徴収保険料1億7227万5000円を計上いたしました。これは前年度に比べ1802万8000円の増でございます。

そのほか、3款繰入金、1項一般会計繰入金、1目事務費繰入金として7838万5000円を、2目保険基盤安定繰入金として1億2789万3000円を、5款諸収入として471万3000円をそれぞれ計上いたしました。

続きまして、議案第17号「茂原市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、議案第3号の「茂原市特別会計老人保健費補正予算」でも御説明いたしましたように、平成18年法律第83号の「健康保険法等の一部を改正する法律」の施行により、後期高齢者医療制度が創設され、従前の老人保健特別会計の設置義務が平成23年3月31日でなくなることから、廃止しようとするものでございます。

続きまして、議案第20号「茂原市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、平成23年4月以降の1件あたりの出産育児一時金の額を、引き続き42万円にしようとするものです。

本市の国民健康保険被保険者が出産したときに支給する出産一時金は、国の緊急少子化対策により平成21年10月1日から本年3月31日までに限り、時限措置として42万円とされていましたが、国が4月1日以降も恒久化する方針を示し、被用者保険の被保険者の支給額も恒久化されることから、本市におきましても、出産に要する経済的負担の軽減を図るため、恒久化しようとするものでございます。

以上が、市民部所管にかかわります議案6件でございます。よろしく御審議の上、御可決くださいますようお願い申し上げます。以上でございます。

○議長（常泉健一君）　ここでしばらく休憩します。

午前11時28分　休憩

————— ☆ ————— ☆ —————

午前11時40分　開議

○議長（常泉健一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

都市建設部長 古市賢一君。

（都市建設部長 古市賢一君登壇）

○都市建設部長（古市賢一君） 都市建設部所管にかかわります議案第4号、第7号、第8号、第10号、第23号及び第24号の6議案につきまして御説明申し上げます。

初めに、議案第4号「平成22年度茂原市特別会計駐車場事業費補正予算（第1号）」につきまして御説明申し上げます。

本案は、事業収入の駐車場使用料が当初予算見込みを下回ったため100万円を減額とし、一般会計からの繰入金100万円を増額とするものでございます。

次に、議案第7号「平成23年度茂原市特別会計下水道事業費予算」につきまして御説明申し上げます。

本市の公共下水道事業につきましては、供用開始から38年を経過し、老朽化した終末処理場の改築工事を中心に効率的な施設の維持管理を図ってまいります。

本事業会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ12億8945万8000円を計上いたしました。これは前年度予算額と比較いたしますと1億3990万4000円の減額で、率にいたしますと10%の減でございます。

その概要につきまして、歳出より御説明申し上げます。

1款事業費、1項管理費、1目一般管理費でございますが、1億1397万7000円を計上いたしました。主な内容といたしましては、事業執行のための人件費、業務・事務費でございますが、13節委託料に2896万4000円を計上し、下水道使用料の徴収等を委託するものでございます。

2目維持管理費でございますが、3億5805万5000円を計上いたしました。主な内容といたしましては、処理場、ポンプ場及び管渠等の維持管理に伴います人件費及び事業費でございます。本年度も施設の維持管理につきましては、安全性に十分配慮し、経費の節減を図りながら円滑な維持管理に努めてまいります。

3目財政調整基金費でございますが、財政調整基金積立金として2000万円を計上いたしました。

2項工事費でございますが、総額1億4180万円を計上いたしました。

13節委託料に1億1380万円を計上し、長寿命化計画業務及び工事等を委託するものでございます。

なお、工事の委託でございますが、国庫補助事業として、川中島終末処理場の改築工事を委

託してまいります。

15節工事請負費に2000万円を計上し、汚水管布設工事等を実施するものでございます。

3款公債費でございますが、下水道事業債元利金の償還といたしまして6億4062万5000円を計上いたしました。

4款予備費でございますが、1500万円を計上いたしました。

これに対応いたします歳入につきまして御説明申し上げます。

1款分担金及び負担金でございますが、515万6000円を計上いたしました。主に早野第2処理分区及び三貫野処理分区の受益者負担金過年度分並びに汚水管布設受託工事等の工事負担金でございます。

2款使用料及び手数料、1項使用料でございますが、7億4783万2000円を計上いたしました。下水道使用料でございます。

3款国庫支出金でございますが、5750万円を計上いたしました。処理場改築工事等に伴う補助金でございます。

5款繰入金でございますが、1項一般会計繰入金として3億100万円を計上いたしました。

6款の繰越金でございますが、前年度繰越金として7266万7000円を計上いたしました。

8款市債でございますが、下水道事業債として1億170万円を計上いたしました。

第2表地方債でございますが、下水道整備事業につきまして、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法を本表のとおり定め、事業の円滑な推進を図ってまいります。

以上が、「平成23年度茂原市特別会計下水道事業費予算」の概要でございます。

次に、議案第8号「平成23年度茂原市特別会計宅地開発事業費予算」につきまして御説明申し上げます。

本事業会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ75万6000円を計上いたしました。これは前年度予算額と比較しますと38万9000円の増でございます。

その概要につきまして、歳出より御説明申し上げます。

1款事業費でございますが、75万6000円を計上いたしました。主な内容といたしましては、西部地区開発事業用地の防護柵修繕と草刈委託でございます。

これに対応いたします歳入につきまして御説明申し上げます。

1款繰越金75万5000円並びに2款諸収入1000円により対応するものでございます。

以上が、「平成23年度茂原市特別会計宅地開発事業費予算」の概要でございます。

続きまして、議案第10号「平成23年度茂原市特別会計駐車場事業費予算」について御説明申

し上げます。

本事業会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億6167万5000円を計上いたしました。これは前年度予算額と比較いたしますと1487万4000円の減額で、率にいたしますと8%の減でございます。

その概要につきまして、歳出より御説明申し上げます。

1款事業費、1項管理費、1目一般管理費でございますが、101万1000円を計上いたしました。主な内容といたしましては、27節公課費の消費税100万5000円でございます。

2目施設管理費でございますが、4777万1000円を計上いたしました。主な内容といたしましては、11節需用費に349万5000円を計上し、駐車場の運営を行うものでございます。

13節委託料に836万4000円を計上し、駐車場の管理委託を行うものでございます。

14節使用料及び賃借料の3304万7000円につきましては、本施設用地の借上料等でございます。

2款公債費でございますが、駐車場事業債元利金の償還といたしまして1億1189万3000円を計上いたしました。

3款予備費でございますが、100万円を計上いたしました。

これに対応いたします歳入につきまして御説明申し上げます。

1款事業収入でございますが、4063万1000円を計上いたしました。駐車場使用料等でございます。

2款繰入金でございますが、一般会計繰入金1億2100万円を計上いたしました。

以上が、「平成23年度茂原市特別会計駐車場事業費予算」の概要でございます。

次に、議案第23号、茂原市道路線の認定につきまして御説明申し上げます。

茂原市道路線の認定につきましては、瑞穂土地改良事業に伴い茂原市行政界が変更されたことによる市道路線の認定、また宅地分譲により茂原市に帰属した道路を新たに認定し、市民の一般交通の利便を図るため、道路法第8条第2項の規定に基づきお願いするものでございます。

次に、議案第24号、茂原市道路線の廃止につきまして御説明申し上げます。

茂原市道路線の廃止につきましては、認定替え等に伴い市道の廃止、また開発行為に伴う市道路線の廃止を道路法第10条第3項の規定に基づきお願いするものでございます。

以上、都市建設部所管にかかります議案6件につきまして御説明申し上げます。よろしく御審議の上、御可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 経済環境部長 前田一郎君。

（経済環境部長 前田一郎君登壇）

○経済環境部長（前田一郎君） 経済部所管にかかわります議案第9号「平成23年度茂原市特別会計農業集落排水事業費予算」につきまして御説明申し上げます。

本予算の総額は、歳入歳出それぞれ3億4635万円を計上いたしました。前年度当初予算と比較いたしまして1617万円の増額となり、率にいたしまして4.9%の増でございます。

その主な概要につきまして、歳出から御説明申し上げます。

1款事業費、1項管理費、1目一般管理費でございますが、3026万8000円を計上いたしました。主な内容といたしましては、事務事業を執行するための人件費及び事務費でございます。

2目施設管理費でございますが、東郷第一地区、豊岡第一地区、豊岡第二地区及び豊岡第三地区の適正な維持管理に要する費用といたしまして、6962万7000円を計上いたしました。

3款公債費でございますが、市債の償還元金につきましては1億6894万7000円、償還金利子7650万7000円、合わせまして2億4545万4000円を計上いたしました。

これに対応する歳入につきまして御説明申し上げます。

1款分担金及び負担金でございますが、東郷第一地区ほか3地区の新規加入受益者分担金等といたしまして、1300万円を計上いたしました。

2款使用料及び手数料でございますが、供用開始の4地区の使用料といたしまして、1億2294万4000円を計上いたしました。

4款繰入金でございますが、一般会計から1億4000万円を繰り入れするものでございます。

5款繰越金でございますが、前年度繰越金といたしまして100万円を計上いたしました。

7款市債でございますが、下水道事業債を6000万円、借り換え債940万円、合わせまして6940万円を借り入れするものでございます。

以上、経済環境部所管にかかわります議案1件につきまして御説明申し上げます。よろしく御審議の上、御可決くださいますようお願い申し上げます。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 福祉部長、古山 剛君。

（福祉部長 古山 剛君登壇）

○福祉部長（古山 剛君） 福祉部所管にかかわります議案第11号、議案第18号並びに議案第19号について御説明申し上げます。

まず初めに、議案第11号「平成23年度茂原市特別会計介護保険事業費予算」について御説明申し上げます。

本案は、平成23年度茂原市特別会計介護保険事業費予算の総額を歳入歳出それぞれ53億990万1000円とするものでございます。前年度の当初予算と比較いたしますと3億5317万9000円、

7.1%の増でございます。

歳出の主な内容から御説明を申し上げます。

1 款総務費につきましては、一般職人件費、賦課徴収関係経費、介護認定審査会負担金、認定調査関係経費など、介護保険制度全般の運営に係る事務的な経費といたしまして、1億6417万1000円を計上いたしました。

2 款保険給付費につきましては、1 項介護サービス等諸費、1 目居宅介護サービス給付費には、要介護1以上の認定を受けた方々が利用する介護サービスに係る給付費といたしまして、21億872万5000円を計上いたしました。

2 目介護予防サービス給付費には、要支援1及び2の認定を受けた方々が利用する介護予防サービスに係る給付費といたしまして、1億4472万9000円を計上いたしました。

3 目地域密着型介護サービス給付費には、認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護等に係る給付費といたしまして、4億7737万円を計上いたしました。

4 目施設介護サービス給付費には、介護老人福祉施設等の入所に係る給付費といたしまして、16億8325万7000円を計上いたしました。

7 目居宅介護サービス計画給付費には、介護サービス利用のための居宅介護サービス計画（ケアプラン）作成に係る給付費といたしまして、2億4630万5000円を計上いたしました。

4 項特定入所者介護サービス費、1 目特定入所者介護サービス費には、施設入所者の居住費、食費の負担軽減に係る給付費といたしまして、1億6364万9000円を計上いたしました。

2 款保険給付費全体では、前年度比3億6134万8000円、率にして7.8%増の49億9807万7000円を計上いたしました。

3 款地域支援事業費につきましては、1 項介護予防事業費、1 目介護予防事業費には、一般職人件費、通所型介護予防事業、二次予防対象者把握事業などに係る経費といたしまして、7281万8000円を計上いたしました。

2 項包括的支援事業・任意事業費、1 目包括的支援事業費には、一般職人件費、総合相談支援事業、単身高齢世帯把握事業などに係る経費といたしまして、5316万3000円を計上いたしました。

3 款地域支援事業費全体では、前年度比647万3000円、率にして5.0%増の1億3624万9000円を計上いたしました。

次に、歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款介護保険料につきましては、保険給付費及び地域支援事業費に充てるため、65歳以上の

被保険者に御負担いただく介護保険料といたしまして、9億1200万円を計上いたしました。

3款国庫支出金につきましては、1項国庫負担金と2項国庫補助金を合わせまして11億1570万9000円、4款支払基金交付金につきましては15億2015万9000円、5款県支出金につきましては、1項県負担金と2項県補助金を合わせまして7億4398万7000円を計上いたしました。国庫支出金、支払基金交付金及び県支出金につきましては、保険給付費及び地域支援事業費に係るそれぞれの負担割合に応じて計上したものでございます。

8款繰入金につきましては、1項一般会計繰入金といたしまして、保険給付費に係る繰入金が6億2476万円、地域支援事業費に係る繰入金が2812万2000円、運営費に係る繰入金が1億6411万8000円、合計で8億1700万円を計上いたしました。

2項基金繰入金、1目給付準備基金繰入金といたしましては、保険給付費に充てるため1億9994万7000円を計上いたしました。

次に、議案第18号「茂原市福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、市民サービスの向上を目的として、各福祉センターの休館日として定めている月曜日を開館するため、条例の一部を改正しようとするものです。

これにより、例年より約50日ほど施設利用日数が増えることとなります。地域住民の福祉の拠点施設であります各福祉センターをより多く利用できるようになることで、市民サービスの向上、地域福祉の充実につながるものと考えております。

なお、御承知のように、各福祉センターの管理運営につきましては、平成18年度より指定管理者制度を導入し、現在、茂原市社会福祉協議会が管理運営を行っておりますので、この開館日を増やすための対応は事前に協議をさせていただき、準備をいたしております。

次に、議案第19号「茂原市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、豊岡地区の栗生野児童遊園、本納地区の榎神房児童遊園、本城児童遊園については、利用者が減少する中、地元自治会からの要望により廃止しようとするもので、その名称及び位置を条例の別表から削るものであります。

平成22年度末におきまして、児童遊園設置箇所数は65カ所となります。

以上が、福祉部所管にかかわります議案3件でございます。よろしく御審議の上、御可決くださいますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 総務部長 松本文雄君。

(総務部長 松本文雄君登壇)

○総務部長（松本文雄君） 総務部所管にかかわります議案第14号から第16号、第21号、第22号及び第25号の6議案について御説明申し上げます。

まず、議案第14号「特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、本案は、財政健全化の一環として、平成23年度につきまして、特別職の職員の給料について10%引き下げ、市長については、条例本則90万円であるものを81万円に、副市長については、条例本則77万5000円であるものを69万7500円にそれぞれ改正しようとするものでございます。

次に、議案第15号「茂原市教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、本案も財政健全化の一環として、平成23年度につきまして、教育長の給料について10%引き下げ、条例本則70万円であるものを63万円に改正しようとするものでございます。

次に、議案第16号「茂原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」でございますが、本案も前議案と同様、財政健全化の一環として、一般職の職員の給料について改正するとともに、住居手当を千葉県職員に準じ改正しようとするものでございます。

改正の1点目でございますが、平成23年度につきまして、一般職の職員に支給する給料月額について、6級職以上の管理職に限り、一律1%削減しようとするものでございます。

改正の2点目でございますが、持ち家に係る住居手当について、現行月額4300円であるものを、平成23年度については月額3000円に、平成24年度については月額1500円に、平成25年度以降については支給なしとするよう改正をしようとするものでございます。

このほかに、人事院勧告に伴う、月60時間を超える時間外勤務の積算方法について改正しようとする内容も含まれております。

次に、議案第21号「市町の境界変更に伴う財産処分に関する協議について」及び議案第22号「市町の境界変更について」それぞれ関連がございますので、合わせて御説明申し上げます。

本案は、現在、県営瑞穂地区土地改良事業が大網白里町の西部67ヘクタールを中心に、茂原市の一部の区域4.5ヘクタール、大字榎神房・高田・桂及び桂飛地を含めて施行されておりますが、これに伴い、大網白里町との行政境界を、完成後の地形・地物及び筆境にあわせて変更するにあたり、議会の議決を得ようとするものでございます。

また、本境界変更に伴い、道路及び水路用地について、大網白里町に編入する部分があるため、財産処分の議会議決を得ようとするものでございます。

次に、議案第25号「千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合同規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について」でございますが、本案は、千葉県市町村総合事務組合の組織団体である館山市及び南房総市学校給食組合が平成23年3月31日をもって解散することにより、組合の組織団体の数が減少することに伴い、組合同規約中、組合を組織する地方公共団体に関する規定及び組合の共同処理する事務に係る共同処理する団体に関する規定を改正する必要があるため、関係地方公共団体と協議しようとするものでございます。

以上が、総務部所管にかかわります議案6件でございます。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 以上で提案理由の説明を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

#### 請願の上程後委員会付託

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第4「請願の上程後委員会付託」を議題とします。

受付締め切りの2月18日までに受理いたしました請願1件を上程します。

ただいま上程しました請願は、お手元に配付の請願文書表のとおり、所管委員会にその審査を付託いたします。

————— ☆ ————— ☆ —————

#### 休会の件

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第5「休会の件」を議題とします。

お諮りします。明24日から3月1日までは、議案等調査のため休会としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（常泉健一君） 御異議ないものと認めます。したがって、そのように決定しました。

次の本会議は3月2日午前10時から開き、一般質問を行います。

本日は以上で散会します。御苦労さまでした。

午後0時11分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

#### ○本日の会議要綱

1. 会議録署名議員の指名

2. 会期の決定
3. 報告第1号並びに議案第1号から第25号までの上程説明
4. 請願の上程後委員会付託
5. 休会の件

○出席議員

議長 常 泉 健 一 君

副議長 深 山 和 夫 君

1番	飯 尾 暁 君	2番	前 田 正 志 君
3番	矢 部 義 明 君	4番	金 坂 道 人 君
5番	中 山 和 夫 君	6番	山 田 きよし 君
7番	細 谷 菜穂子 君	8番	森 川 雅 之 君
9番	平 ゆき子 君	10番	鈴 木 敏 文 君
11番	ますだ よしお 君	12番	田 丸 たけ子 君
13番	加賀田 隆 志 君	14番	腰 川 日出夫 君
15番	伊 藤 すすむ 君	17番	勝 山 穎 郷 君
18番	初 谷 智津枝 君	19番	三 橋 弘 明 君
20番	関 好 治 君	21番	早 野 公一郎 君
22番	三 枝 義 男 君	24番	市 原 健 二 君
25番	田 辺 正 和 君	26番	金 澤 武 夫 君

☆

☆

○欠席議員

な し

☆

☆

○出席説明員

市長	田中豊彦君	副市長	長谷川正君
教育長	古谷一雄君	総務部長	松本文雄君
企画財政部長	平野貞夫君	市民部長	中山茂君
福祉部長	古山剛君	経済環境部長	前田一郎君
都市建設部長	古市賢一君	教育部長	國代文美君
総務部次長 (総務課長事務取扱)	片岡繁君	企画財政部次長 (資産税課長事務取扱)	吉田正君
企画財政部次長 (財政課長事務取扱)	麻生英樹君	市民部次長 (国保年金課長事務取扱)	森川浩一君
福祉部次長 (社会福祉課長事務取扱)	大野博志君	経済環境部次長 (農政課長事務取扱)	鳩川文夫君
都市建設部次長 (土木建設課長事務取扱・土木政策担当)	笠原保夫君	都市建設部次長 (都市政策担当・本納駅東地区土地区画整理担当)	酒井達夫君
教育部次長 (教育総務課長事務取扱)	斉藤勝君	職員課長	相澤佐君
企画政策課長	岡本幸一君		

————— ☆ ————— ☆ —————

○出席事務局職員

事務局長	金坂正利
主幹	三橋勝美
局長補佐 (庶務係長事務取扱)	宮本浩一